

レジメン名

Pertuzumab+Trastuzumab+DTX

出典 N Engl J Med 2012;366:109-119.
 ハーセプチン適正使用ガイド2011年11月改訂
 パージェタ適正使用ガイド2014年5月改訂

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

HER2過剰発現乳癌

進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

その他	GREOPATRA試験ではPlt減少によるドセタキセルの減量基準を設けていたが、高柳医師より減量基準の設定不要とのこと。				

1クール期間 21日
 (次のクールまでの標準期間)

総クール数 PDまで

7クール目以降は
 DTX省略の可能性あり

投与中止の基準

WBC	3000/mm ³ 未満	Plt	7.5万/mm ³ 未満		
ANC	1500/mm ³ 未満	Hb	10.0g/dL未満		
その他	LVEFが50%未満に低下した場合または前回比10%の低下				

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ペルツズマブ(パージェタ)	840mg/body	NS250mL	60分	day1(初回)
トラスツズマブ	8mg/kg	NS250mL	90分	day1(初回)
ドセタキセル	75mg/m ²	輸液250mL	60分	day1
2クール目以降は下記の投与量、投与速度で				
ペルツズマブ(パージェタ)	420mg/body	NS250mL	30分	day1(2回目以降)
トラスツズマブ	6mg/kg	NS250mL	30分	day1(2回目以降)
ドセタキセル	75mg/m ²	輸液250mL	60分	day1

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1(1クール目) ①生食50mL(ルート確保用) ②パージェタ840mg+生食250mL(60分) ③生食50mL(60分) ④トラスツズマブ8mg/kg+生食250mL(90分) ⑤生食50mL(60分) ⑥デキサート9.9mg+ボラミン5mg+生食100mL(30分) ⑦ドセタキセル75mg/m ² +輸液250mL(60分) ⑧生食50mL(全開)
day2-3 ①デカトロン 8mg 分2
day1(2クール目以降) ①生食50mL(ルート確保用) ②パージェタ420mg+生食250mL(30分) ③生食50mL(30分) ④トラスツズマブ6mg/kg+生食250mL(30分) ⑤生食50mL(30分) ⑥デキサート9.9mg+ボラミン5mg+生食100mL(30分) ⑦ドセタキセル75mg/m ² +輸液250mL(60分) ⑧生食50mL(全開)
day2-3 ①デカトロン 8mg 分2